

しかし、さすがに20年なんて声を聞くと、いやあ、あっという間でした。

最近カルテを見ると、本当に長く通院して頂いている方が多くて驚きます。本当に感謝です。訪問の患者さんにはお伝えしていませんが、外来の患者さんは診察券に5桁のカルテ番号が書いてあると思います。前の2桁が姓の頭文字です。「あ」が01、「い」が02といった具合に。次の3桁がその頭文字の中で何番目に来院された方かを表しています。例えば「11350」は姓の最初の文字が「か」で350番目に来院された方ということですよ。ですから、下3桁が若い番号の方ほど長く通っていたいただいているということになります。

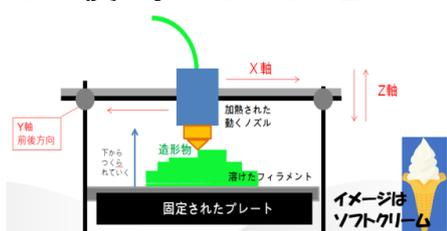
本当に長く通っていたら、いる方のお口の状態は私たち自身の評価表と感ずます。これからもしっかり

皆さんのお口の健康のサポートをしていこうと思ひます。

3Dプリンタ

皆さん、3Dプリンタってわかりますか？僕自身も触ったことがないのでよく知っているわけではないですが、自分でデザインしたものを実際に形にして作れるものです。それでスマホのケースやアクセサリーなどを作っている方もいるようですよ。値段も最近では手ごろになり、家庭で使っている方もいるようですよ。

さて、世の中に3Dプリンタとい



うものが出てきたときから「歯科との相性がいい」とずっと言われてきました。歯を削った後、専用のカメラでその歯を撮影し、コンピュータで計算して3Dプリンタで歯を削り出して作るという技術は20年以上前からありました。ただ、保険外のサービスでしたし、完成精度への不安、そして接着剤との相性などの問題で、すぐに広まることはありませんでした。しかし、3Dプリンタが一般的に使われるようになってどんどんそういう技術が歯科界でも広まっています。まさかと思つた入れ歯も3Dプリンタで作られる時代になってきました。何とか取り残されないようにしなくては！